

第2期鎌倉市地域福祉計画策定支援業務委託 選考基準

評価項目		配点
基礎事項	<業務実績> ・過去の同種・類似の業務実績から、適切に業務を遂行する能力が見込まれるか。（調査業務のみはカウントしない。）	5
	<業務履行体制> ・業務に対する組織体制・人員配置は適正であるか。また、業務の担当予定者が、当該業務に関する十分な実務経験を有しているか。	5
業務内容	<スケジュールに無理がないか> 事業者・行政の双方に実行可能なスケジュールとなっているか。	5
	<業務理解> ①法・制度の理解 ・委託業務の趣旨を十分に理解し、現在の国の方針などを、法的根拠等を基に、正確に把握し、本市と連携して委託業務を円滑かつ適切に遂行することが可能か	5
	②社会動向の理解 ・社会動向や他の自治体の先進的な取り組みを踏まえた提案となっているか。	10
	③市の理解 本市の福祉政策の現状・課題及び現行の鎌倉市地域福祉計画における取組・課題を踏まえた現実的かつ将来性のある提案となっているか。	10
	<アンケート調査> ・回答率を上げる工夫がなされているか。	5
	<調査の分析> ・統計データ及び新たに行う調査を踏まえ、本市の地域課題を的確に把握・分析する手法が盛り込まれた内容になっているか。また、その技術を有するか。	10
	<提案の適切性> 地区別市民懇談会（ワークショップ）の運営補助、調査結果及び地域地区の特性の反映・調整、先進的事例の提供等を適切に実施できる提案がなされているか。	15
	<提案の独自性> 本市が仕様書に提示している内容または仕様書の記載事項に付加した独自提案について、有意義な独自の提案がされているか。	15
見積価格	<提示見積額（コスト）> ・提示見積額は適切で妥当性がある金額か。	10
プレゼン対応	プレゼンテーション（質疑応答含む）について ・分かりやすく的を射た内容となっているか。 ・誰にも分かりやすく伝える技術を有しているか。 ・質問に対し、適切な回答をしているか。	5
合計		100